

## ■ワークスタイル変革と IT プロジェクト活動成果報告会

「ワークスタイル変革の始め方」開催

平成 26 年 5 月 28 日 15 時から、東京国際フォーラム会議室にてワークスタイル変革と IT プロジェクト活動成果報告会「ワークスタイル変革の始め方」が開催された。出席者は 76 名。

本報告会は、JISA が平成 25 年度市場創造チャレンジ委員会(委員長：島田俊夫)の成果として取りまとめた「ユビキタスワークスタイル成熟度モデル」の普及、浸透を図るために開催された。このモデルは、働き方の見直しに対する関心が高まる中で、情報サービス産業において、働く場所と時間の制約のない働き方(ユビキタスワークスタイル)への取組方を明らかにするとともに、自社のワークスタイル変革への取組段階をチェックする上で活用し得る共通指標を提供することを目的に策定されたものである。また、JISA では「情報サービス業界のテレワーカーの割合を 2020 年までに 20%を目指す」とする「[テレワーク推進目標](#)」を掲げている。



まず、ワークスタイル変革と IT プロジェクトの萩原高行座長より、ユビキタスワークスタイルへの取組に資する「ユビキタスワークスタイル(働き方)変革実践ガイドライン」が紹介され、その中で、「ユビキタスワークスタイル成熟度モデル」が示された。萩原氏は、できることから少しずつ達成していくことの重要性を訴え、東日本大震災を契機に働き方の見直しへの関心が高まる中で、本ガイドラインを活用することにより各社の取組強化に努めていただきたいと述べた。

続いて、ワークスタイル変革実践プランの詳細や取組事例の紹介が行われた。事例紹介では、日本アイ・ビー・エム(株)、リコーIT ソリューションズ(株)から、段階的に達成度を高めていった経緯や IT を活用した働き方の見直しを図る際に検討が必要となる社内プロジェクト体制、プロジェクトの実施手順、IT 環境の整備、ペーパーレス化の実現に向けた問題等、経験を踏まえたより具体的な解説が行われた。

最後に、情報提供プレゼンテーションとして、テレワークタウン計画を掲げる長野県富士見町長小林一彦氏からテレワークオフィスの紹介、一般社団法人日本テレワーク協会からテレワーク助成金事業の紹介があった。

(増田)